

備前市施策評価シート

(平成19年度事業)

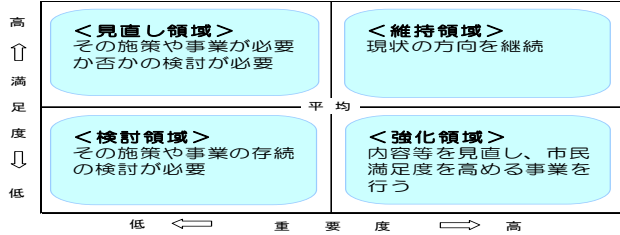
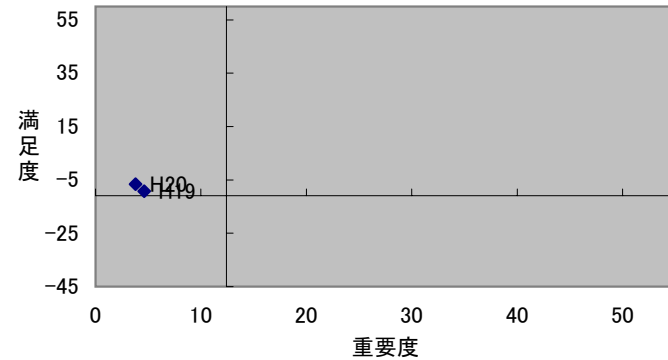
施策名 (小項目)	ボランティア・NPO	コード	作成者	役職	企画課長
		05-01-03	氏名	里見 清美	
			電話	64-1871	

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	住民主体の協働のまちづくり
	中項目(基本施策)	住民主体で進めるまちづくり
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	「ボランティア支援センター」をボランティア活動の拠点として適正に管理運営をする。また、ボランティア活動登録制度を友好に活用し、ボランティア活動の推進と啓発を図る。	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	市民の価値観の多様化や少子化をはじめとする社会環境の急激な変化などを背景に、ボランティア活動への意識や関心が高まっている。このような中で、従前の体制では、新たなニーズに的確に対応することが困難な局面が生じており、行政の対応の充実が求められている。今後、備前市社会福祉協議会、岡山県ボランティア・NPO活動支援センター等の関連機関との連携を密にし、有機的な幅広い分野でのボランティア活動の支援促進やボランティア精神の高揚を図り、いつでも、誰でもボランティア活動に取り組みよう、活動の情報提供や相談窓口など、環境整備が課題となっている。また、行政とNPOとの協働について、お互いの特性を認識、尊重しあいながら、公共サービスを共同で行う必要がある。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア活動の環境整備</li> <li>ボランティア活動の支援・促進</li> <li>行政とNPOとの協働の促進</li> <li>人材バンクの創設</li> </ul>	

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	4.6	3.8	
満足度(%)	-9.2	-6.6	



調査結果に対するコメント、市民の反応等  
 [調査対象でない施策の場合は、市民の反応等]  
 満足度も重要度も低く、市民の関心は低い。また、「市政に関する意見」の中にもボランティア・NPOに関する意見も非常に少ない。今後はあらゆる分野で活発化させることが必要である。

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			目標値			ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H19	H20	H23	H28		
1 この1年で何らかのボランティア活動を行ったことのある市民の割合	目標	%	36.0	37.0	37.0	37.0	45.0	50.0	活動の割合が高くなれば、協働のまちづくりも進む
	実績	%	35.3	36.3	34.9				
	達成率	%	98.1	98.1	94.3				
2 NPOの数	目標	法人	8	8	8	8	8	9	法人数が増えると協働のまちづくりも進む
	実績	法人	6	6	6				
	達成率	%	75.0	75.0	75.0				
3 ボランティア支援センターの利用者数	目標	人	5500	6000	6000	6,000	6,300	6,500	施設の有効利用と団体の活発な活動
	実績	人	4795	6271	6837				
	達成率	%	87.2	104.5	114.0				
4	目標								
	実績								
	達成率	%							

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									H20 当初予算 直接 事業費		
				H17			H18			H19					
				直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数			
1	ボランティア支援センター等 管理運営事業	D	ボランティア支援センター管理運営事業 サイクリングターミナル管理運営事業	施設維持管理 施設維持管理	3,841	2,055	0.20	4,762	1,330	0.15	4,766	318	0.04	☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆	2,760
2	ボランティア活動支援事業	E	人材育成事業	その他単市	14	1,139	0.12	0	475	0.05	0	279	0.03	☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆	0
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				H17	H18	H19	H20当初(直接事業費)								
				3,855	3,194	0.32	4,762	1,805	0.20	4,766	597	0.07	2,760		

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
市社協・県社協・県ボランティア・NPO活動支援センター	ボランティア活動事業等	関係機関と連携することで、ボランティア活動等を活発化させ、住民主体の協働のまちづくりを推進することができる。

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度 (中・長期目標に対する)	2	ボランティア支援センターの管理運営は適正に行われているが、リーダーの育成は行われていない。	2	施設の管理のみである。
2 事業構成の適当性	2	ボランティアリーダーの育成が急務である。	2	リーダー養成がまったく手付かずの状態である。
3 施策の有効性 (評価年度の目標達成)	1	施設管理しか行っていないため、ソフト事業の充実を図る必要がある。	1	ボランティア活動支援の基本的な方針を決定する必要がある。
担当への指示 (今後の展開・協働の可能性・事業見直し・新規事業創出等)	ボランティア・NPO関係機関との連携により、ソフト事業の充実を図り、協働のまちづくりが推進できるようにする必要がある。			施設の維持が必要か、現在の場所が適当か、社協等関係機関との意見交換、調整が必要である。
二次評価者コメント 役職 総務部長 氏名 森山 純一	ボランティアセンターは、まったくといってよいほど機能していない。ボランティア活動に対する基本的な方針を決定する必要がある。社協、NPOなど関係機関との意見交換の場をもって検討する必要がある。			基本施策への貢献度 2やや低い